

第15回 定時社員総会

開催日 2025年6月27日

場 所 ステーションコンファレンス万世橋

一般社団法人 日本鉄道運転協会

第 1 5 回定時社員総会次第

1. 開 会

2. 総会成立報告

3. 会 長 挨 拶

4. 来 賓 挨 拶

5. 議 事

(1) 議長選出

(2) 議案

ア 報告事項

報告 1 2 0 2 4 年度事業報告

報告 2 2 0 2 5 年度事業計画及び予算

イ 決議事項

第 1 号議案 2 0 2 4 年度決算の承認に関する件

第 2 号議案 定款の改定に関する件

第 3 号議案 理事及び監事の選任に関する件

(3) 議長退任

6. 閉 会

報告 1 2024 年度事業報告

事業報告

I 概況

新型コロナウイルスの影響は大きく減少し、当協会の事業は通年に戻りました。2024年度は、各種講習会、運転業務研究発表会においては意見交換会も実施することで、会員間の交流を図りました。また、海外鉄道視察団は欧州の物価高と円安の影響を受けましたが、海外鉄道会社との交流により充実した調査が行われました。さらに、各種委員会、各支部総会および関東部会は計画通り全て実施したほか、試乗会も開催しました。

受託調査研究として、動力車操縦者運転免許制度のあり方に関しては鉄道事業者の意向を調査し、検討会を開催しました。また、動力車操縦者の身体検査（視機能・聴力）の基準の修正や、数値基準との整合性をとるための基礎データを収集し国土交通省に報告しました。さらに、「解説書 鉄道に関する技術基準(運転編)」(第九版)の発刊を行い、広く宣伝することにより収益に寄与しました。

II 会務関係

会務活動については、2024年6月28日に第14回定時社員総会、評議委員会及び第53回、第54回理事会を、11月22日に第55回理事会、支部長会議を開催した他、2025年3月7日に第56回理事会を開催して業務執行体制の更なる定着を図ってきた。

また、第18回運営委員会を2024年8月20日に開催したほか、各種委員会等についても、ほぼ計画通り実施することができた。

1 第14回定時社員総会

2024年6月28日13時30分 第14回定時社員総会をステーションコンファレンス万世橋（秋葉原）404会議室において開催した。会員総数23,382名中、出席者57名、委任状199,58名、合計200,15名（正会員及び法人会員総数の85.6%）にて定款第18条に基づく「過半数」を満たして成立し、次の議案を審議し、それぞれ承認、可決された。

(1) 報告事項

- ・2023年度事業報告
- ・2024年度事業計画及び収支予算について

(2) 決議事項

- 第1号議案 2023年度決算の承認に関する件
- 第2号議案 理事の選任に関する件

2 第14回評議委員会 ステーションコンファレンス万世橋

2024年6月28日 12時30分から開催し、次の案件を審議承認した。

議 案 理事の候補者に関する件

報告事項 評議委員会委員

その他、総会附議事項の説明を行った。

3 理事会

(1) 第53回理事会 ステーションコンファレンス万世橋

2024年6月28日 12時45分から開催し、次の議案の審議及び可決を行ったほか、報告事項の承認を行った。

決議事項

- 第1号議案 2023年度事業報告について
- 第2号議案 2023年度決算及び監査報告に関する件
- 第3号議案 第14回定時社員総会への附議事項に関する件

- (1) 報告事項
 - ・ 2023年度事業報告
 - ・ 2024年度事業計画及び予算
- (2) 決議事項
 - ・ 理事の選任に関する件

(2) 第54回理事会 ステーションコンファレンス万世橋

2024年6月28日 14時30分から開催し、次の議案の審議及び可決を行った。

決議事項

第1号議案 運営委員会委員の選任・承認に関する件

(3) 第55回理事会 ステーションコンファレンス万世橋

2024年11月22日 16時00分から開催し、次の議案の審議及び報告を行った。

決議事項

第1号議案 2024年度表彰に関する件

2024年度運転功労者表彰者、協会功績者褒賞及び運転協会誌優秀作品
表彰者の決定について

報告事項

- ・ 2024年度上半期決算報告について
- ・ 東記念賞選考委員会の選考結果について
- ・ 2024年度の運転業務研究発表会の結果について
- ・ 運輸業務管理ゼミナールの開催について
- ・ 会員状況について
- ・ 会務報告と今後の予定

(4) 第56回理事会 喜山倶楽部

2025年3月7日 16時00分から開催し、次の議案の審議及び報告を行った。

決議事項

第1号議案 2025年度事業計画(案)及び予算(案)に関する件

第2号議案 第15回定時社員総会招集の件及び同社員総会に附議する議案に関する件

報告事項

- ・ 2024年度決算見込みについて
- ・ 2025年度の主要会務予定について
- ・ 会員状況について
- ・ 運転設備研修講座の開催について
- ・ 運転理論(運転曲線)講習会の開催について
- ・ 運転法規研修講座の開催について
- ・ 研修・講習会のご案内

4 運営委員会

第18回運営委員会 喜山倶楽部

2024年 8月20日 16時00分から開催し、次の案件の報告・審議を行った。

会務報告

- ・ 2024年度の会務経過と今後の予定
- ・ 会員状況について
- ・ 運転理論講習会開催について
- ・ 運転法規研修講座開催について
- ・ 運転関係指導者講習会開催について
- ・ 2024年度(第45回)運転業務研究会発表会について

審議事項

- ・ 2024年度運転功労者表彰の支部別割当数について

5 第29回支部長会議 ステーションコンファレンス万世橋

2024年11月22日 14時30分から開催し、次の案件の報告等を行った。

- ・支部別等会員数 (報告)
- ・支部別・事業者別正会員数 (報告)
- ・支部別・運輸局別法人会員数 (報告)
- ・支部会員数の各年度月別推移 (報告)
- ・支部活動状況経過まとめ (報告)

6 東記念賞選考委員会 ステーションコンファレンス万世橋

2024年11月22日 15時30分から開催し、候補案件を審議した。

その結果、下記案件に決定した。

- ・GOA2.5自動運転実現と今後の展開
(九州旅客鉄道株式会社)

7 企画委員会

(1) 第305回開催 アートホテル大分会議室

2024年5月23日(木)に開催し、次の案件の報告と審議を行った。

- ・運転理論(運転曲線)講習会の開催について
- ・2024年度運転業務研究発表会の開催とご参加のお願いについて
- ・各社局の情報連絡について
- ・その他

(2) 第306回開催 東日本旅客鉄道株式会社 秋田支社会議室

2024年7月18日(木)に開催し、次の案件の報告と審議を行った。

- ・運転法規研修会の開催について
- ・運転関係指導者講習会のご案内について
- ・東記念賞の推薦について
- ・各社局の情報連絡について
- ・その他

(3) 第307回開催 ホテルルートイン GRAND 旭川駅前

2024年9月19日(木)に開催し、次の案件の報告と審議を行った。

- ・運転功労者表彰の支部別割当について
- ・運転関係指導者講習会について
- ・運転業務研究発表会について
- ・東記念賞業績候補への申請について
- ・運転協会功績者褒賞の推薦について
- ・各社局の情報連絡について
- ・その他

(4) 第308回開催 成田国際空港(株) NAA 会議室

2024年11月13日(水)に開催し、次の案件の報告と審議を行った。

- ・運転業務研究発表会について
- ・運輸業務管理ゼミナールについて
- ・東記念賞候補への申請(案)について
- ・運転協会功績者褒賞候補者の推薦(案)について
- ・運転協会誌の優秀論文会長賞候補作品、優秀論文賞候補作品、優秀エッセイ賞候補作品、佳作賞候補作品について
- ・各社局の情報連絡について
- ・その他

- (5) 第309回開催 京浜急行電鉄㈱「金沢文庫現業会議室」
2025年1月16日（木）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・ 運転協会創立66周年記念式典での2024年度各賞の表彰について
 - ・ 運輸業務管理ゼミナールについて
 - ・ 各社局の情報連絡について
 - ・ その他

- (6) 第310回開催 阪急電鉄株式会社「本社 会議室」
2025年3月6日（木）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・ 2025年度（第65回）海外鉄道視察団の派遣について
 - ・ 運転設備研修講座について
 - ・ 2025年度日本鉄道運転協会事業計画（案）概要
 - ・ 2025年度研修会・講習会のご案内について
 - ・ 各社局の情報連絡について

8 運転管理研究委員会

- (1) 第27回開催 東日本旅客鉄道株式会社 東北本部ビル 5階501AB会議室
2024年5月8日（水）に開催し、次の案件の審議を行った。
- ・ 「ICT化への取組みと諸課題について」
アンケート調査結果についての報告と各社局の取組みと課題等の意見交換
 - ・ 次回検討希望テーマ（課題）について
 - ・ 各社局の情報連絡について
 - ・ その他
- (2) 第28回開催 「九州旅客鉄道株式会社 大分支社会議室」
2024年11月28日（木）に開催し、次の案件の審議を行った。
- ・ 「運転職場における労働力不足への対応、多様な働き方の取組みについて」
アンケート調査結果の報告と各社局の取組み、課題等の意見交換
 - ・ 次回検討希望テーマ（課題）について
 - ・ 2024年度の委員長、副委員長（2名）の改選（選出）について
委員長：田中 庸久（京王電鉄㈱） ⇒ 野中 俊昭（小田急電鉄㈱）
副委員長：関 淳也（北海道旅客鉄道㈱） ⇒ 熊本 大誉（東日本旅客鉄道㈱）
副委員長：田中 耕一（神戸市交通局） ⇒ 彌永 高則（福岡市交通局）
 - ・ 各社局の情報連絡について

9 安全情報委員会

2024年度は特に課題となる案件がなかったことから、委員会は開催しなかった。なお、A情報、B情報ともに情報提供はなかった。

10 運転協会誌編集委員会

2024年度は、6月6日に札幌、9月13日に大阪、11月7日に島根で開催したほか、上記を除く毎月上旬に東京地区において開催し、その都度運転協会誌の編集計画を審議して決定した。

11 運転協会事務担当者打合会議

運転協会の事業・支部活動・会員の増加対策ため、全国事務担当者会議を前期6月13～14日に札幌、後期は12月5～6日に高知にて開催また、関西地区事務担当者会議を10月17日に和歌山にて開催、関東地区事務担当者会議を9月6日に神奈川にて開催した。

1 2 支部活動

(1) 北海道支部	2024年	9月17日	会計監査
	2024年	9月27日	支部総会
(2) 東北支部	2024年	7月16日	会計監査
	2024年	7月30日	支部総会
(3) 新潟支部	2024年	4月22日	会計監査
	2024年	11月5日	支部総会
(4) 中部支部	2024年	8月29日	会計監査
	2024年	9月30日	運営委員会
	2024年	9月30日	支部総会 講演
(5) 関西支部	2024年	5月10日	会計監査
	2024年	7月9日	運営委員会
	2024年	7月25日	支部総会
	2024年	7月25日	運転業務研究発表会
(6) 広島支部	2024年	7月31日	会計監査
	2024年	8月26日	支部総会
	2024年	8月26日	運転業務研究発表会
(7) 四国支部	2025年	2月14日	会計監査
	2025年	3月4日	支部総会 講演
(8) 九州支部	2024年	6月10日	会計監査
	2024年	7月24日	運営委員会
	2024年	7月24日	支部総会 講演
(9) 関東部会	2024年	9月3日	部会

1 3 講演・試乗会

(1) 講演会

- ・第14回定時社員総会 2024年6月28日
講演者 元警視総監 池田 克彦様
演題 危機管理と組織の在り方
- ・中部支部総会 2024年9月30日
講演者 西日本旅客鉄道株式会社 鉄道本部 安全研究所
ヒューマンファクターI研究室 室長代理 小倉 有沙様
演題 「リスク感受性向上に関する研究」
- ・四国支部総会 2025年3月4日
講演者 公益財団法人鉄道総合技術研究所 人間科学研究部 安全心理
主任研究員 中村 竜様
演題 「加齢の運転作業への影響と高齢運転士の活用」
- ・九州支部総会 2024年7月24日
講演者 西日本高速道路株式会社 九州支社 地域共創担当部長兼事業開発本部
地域共創戦略担当部長 濱野 昌志様
演題 「企業内に改革を！」 ～インフラ経営と起業家精神～

(2) 試乗会

- ・2024年7月 阪急電鉄株式会社 PRiVACE・2300系新型車両 試乗会 (74名)
- ・2024年9月 近畿日本鉄道株式会社 新型一般車両「8A系」試乗会 (36名)
- ・2025年1月 大阪市高速電気軌道株式会社 夢州駅試乗会 (34名)
- ・2025年2月 京成電鉄株式会社 新型車両3200形試乗会 (71名)
- ・2025年2月 阪急電鉄株式会社 2000系新型車両 試乗会 (94名)

14 役員及び職員等（2025年3月31日現在）

役 職 名	定 員	実 員
代表理事・会長	1名	1名
代表理事・専務理事	1名	1名
執行理事	2名以内	2名
理事（上記を除く）	46名以内	44名
監事	2名以上5名以内	3名
職員・嘱託	—	7名

15 会員数（2025年3月1日現在）

正会員（個人）	22,731名（対前年同期比	927名減）
法人会員	230社（対前年同期比	4社増）

III 事業関係

1 2024年度の主な事業概要は、以下のとおりである。

- (1) 運転協会誌は、旬なテーマや会員からの意見の特集として取り上げ、読者が興味を持ち、役立つ内容の編集に注力した。
- (2) 受託調査研究は、国土交通省から「鉄道に関する技術上の基準を定める省令第106条（列車防護）等に関する調査検討」、「令和6年度動力車操縦者運転免許制度のあり方に関する調査検討」、「令和6年度動力車操縦者の身体検査に関する調査検討」の3件を受託した。
なお、鉄道事業者からの受託件名は東日本旅客鉄道株式会社から、「新幹線自動運転検討委員会」を受託し、完了した。
- (3) 自主研究は『異常時における基本的な対応・取組みについて』3月19日開催の第1回委員会においてテーマの選定、各事業者へのアンケート内容について承認された。
- (4) 2024年度の講習会は、運転設備研修講座（94名）、運転法規研修講座（138名）、運転理論（運転曲線）講習会（70名）、運転関係指導者講習会（247名）、運輸業務管理ゼミナール（77名）の合計626名の受講者の参加があった。
- (5) 運転業務研究発表会は、45回目となり11月14日、15日に開催され27件の研究テーマの発表があった。入場者数は558名であった。
- (6) 海外鉄道視察団派遣は、9月24日～10月3日までの10日間欧州3か国を訪問視察した。参加人員19名。
- (7) 平成23年4月1日にリスク情報共有化の仕組みの一環として、安全情報委員会を設置し、平成23年7月1日より、当面、法人会員30事業者（JR7社、公営7都市、大手民鉄16社）を対象とし、インデックス情報等からなる新しい情報共有のしくみを構築し、活動を開始した。2024年度においては、A情報、B情報ともに情報提供はなかった。

2 運転協会誌発行

第66巻4月号から第67巻3月号までを発行した。前年に引き続き協会会員の要望に応えるよう出来るだけ各号を特集化し、資料としても活用できるように配慮した編集に尽力して、会員の負託に応えられるよう更なる内容の充実を図った。

2024年	4月号	事故防止・安全対策	特集
〃	5月号	信号扱所	特集
〃	6月号	ダイヤ改正	特集
〃	7月号	階層別研修	特集
〃	8月号	高架化・連立事業	特集
〃	9月号	防犯対策	特集

〃	10月号	イベント	特集
〃	11月号	自然災害	特集
〃	12月号	乗務員養成	特集
2025年	1月号	(新年号のため特集なし)	
〃	2月号	業務研究	特集
〃	3月号	駅設備	特集

3 図書発行・販売

- (1)「解説 鉄道に関する技術基準（運転編）」（第九版）（令和6年6月発行）
省令及び解釈基準を制定した時点での技術的根拠、事例等の考え方等をまとめものであり、実施基準の策定、管理、運転の取扱い等に活用が期待される書で、販売数は1,262冊であった。
- (2)「運転理論（再改訂版）」（初版）（平成22年5月発行）
輸送計画における運転理論の役割、基礎項目の解説から運転線図の作成までを最近の鉄道技術の進歩に合わせて改訂した詳細解説の専門書で、販売数は141冊であった。
- (3)「鉄道のスピードアップ」（第四版）（平成8年7月発行）
鉄道のスピードアップの技術は、車両・施設・電気・運転等全般にわたるため、各専門分野の第一人者の方々の協力を得て、体系的に整理された技術書で、販売数は9冊であった。
- (4)「鉄道の運転保安設備（付 輸送計画実務の手引き）」（初版）（平成18年9月発行）
鉄道の運転保安設備に関する基本的な考え方や、新しいシステム・機器の開発を含め、輸送・運転・設備関係者の実務・教習用としてまとめ整理された専門技術書で、販売数は121冊であった。
- (5)「重大運転事故記録・資料（復刻版）追補第二版 昭和62年4月～平成23年3月」
(平成25年12月発行)
鉄道有史以来平成23年3月までの旧日本国有鉄道及び地方鉄道・軌道における重大事故記録をまとめたもので、鉄道の運転・保安業務に携わる方々を中心に購入希望があり、24冊の販売数であった。
- (6)「安全の仕組みから解く 鉄道の運転取扱いの要点」（初版）（平成24年8月発行）
鉄道の安全の仕組みの生い立ちと現在の運転取扱いとの関わりについてまとめたもので、鉄道事業者の関係者などに向けた専門書であるが、易しく核心を捉えた解説書で、販売数は26冊であった。
- (7)「安全のキーポイント～ヒューマンエラーの防止～」（復刻版）（平成26年2月発行）
平成8年以来、絶版となっていたが、会員の要望により復刻した。実務を基礎としたヒューマンエラーの防止を「こころの働き」「適性」「からだのリズム」「乗務作業の特徴」「エラー行動」「教育・指導方法」「運転用機器」「健康管理」の8つのキーとして捉え、解説をしている指導・保安担当関係者の基礎学習書で、販売数は21冊であった。
- (8)「実践運転概論」（第二版）（令和2年6月発行）
協会顧問が永年にわたって講習した内容をわかりやすくまとめて、書籍として発行した。また、一部版の改訂を行った。販売数は108冊であった。
- (9)「わかりやすい運転操縦実務」（初版）（平成27年3月発行）
平成25年度、26年度にかけて設置した「わかりやすい運転操縦実務研究委員会」による報告書を元に書籍化した。運転士目線での運転操縦実務を解説した技術解説書で、販売数は34冊であった。
- (10)このほか、運転協会誌の一般書店等における販売数が698冊であった。

4 受託調査研究

- (1)「鉄道に関する技術上の基準を定める省令第106条（列車防護）等に関する調査検討」（国土交通省委託）

鉄道の技術基準については、平成14年3月に技術基準省令が性能規定化されて以来、国土交通省から、この省令等の運転関係における見直しについての調査検討を委託されている。2024年度は、鉄道全般における列車防護の解釈基準において、講ずべき処置を直接的に把握することが難しいとの意見があることから、列車防護の措置を整理し、省令106条等に規定すべき内容について検討した。

また、運転の実務者において停車場・停留場の意識と異なる定義になっていることを懸念する意見があったことから、再整理を行った。

なお、「解説 鉄道に関する技術基準（運転編）」の見直しについては、技術基準調査研究会（運転）のもとで解説向上委員会において主に自動運転についての解説について検討を行った。

(2) 「令和6年度 動力車操縦者運転免許制度のあり方に関する調査検討」（国土交通省委託）

動力車操縦者の運転免許制度については、昭和31年に制定された動力車操縦者運転免許に関する省令（以下、「動免省令」という。）において、制度を定め、これまで運用されている。また、動免省令に規定される指定養成所については、昭和44年に制定された通達「指定動力車操縦者養成所に対する指導基準」（以下、「指導基準通達」という。）において、講習内容や使用教材等の運転士養成に必要な項目が定められているが、制定されて以降、一度も大きな見直しが行われることがないまま、今日に至っている。

一方、この間のハイブリッド車両等の導入や、CAI教材やシミュレータ等の効率的な学習を実現するための教材の充実等により、制定当時とは環境が大きく異なっていることから、運転士の資質の維持向上と鉄道輸送の安全が確保されることを前提に、令和6年度は動免省令並びに指導基準通達に対する鉄道事業者の意向を調査し、制度の見直しに向けた検討を国土交通省から委託され、報告した。

(3) 「令和6年度 動力車操縦者の身体検査に関する調査検討」（国土交通省委託）

動力車操縦者の身体検査（視機能・聴力）について、現在、省令で定められている、各耳とも5メートル以上の距離でささやく言葉を明らかに聴取できること。（以下、「囁き声検査方式」という。）と定められている基準を、将来オーディオ・メーターでも測定可能な数値基準に見直すことを想定し、動力車操縦者が聴取すべき音の種類や暗騒音等に関する調査を令和5年度に続き委託され、国土交通省に報告した。

令和6年度においても、上記調査に加え、聴力検査を囁き声検査方式で実施している鉄道事業者を訪問し、囁き声の音圧と周波数を測定し、数値基準との整合性を検討するための基礎データを収集し、その結果を国土交通省から委託され、報告した。

(4) 「新幹線自動運転検討委員会」（JR 東日本委託）

少子高齢化や働き方改革などにより社会環境が変化する状況においても、効率的でサステナブルな鉄道経営を維持し、より安全かつ利便性の高い輸送サービスの実現を目指し、現在新幹線の自動運転実現に向けた検討・開発を行っている。システムの安全性や信頼性、運転取扱いなど様々な角度から検討を進めるため、「新幹線自動運転検討委員会」を設立した。

委員会を効率的に運営するための検討課題に関する成果物整理、議事録作成・整理等をJR東日本より委託され、昨年から継続して5回実施し終了した。

5 自主研究

2024年度（第42回）調査研究テーマ『異常時における基本的な対応・取組みについて』と『アンケート内容』について第1回委員会にて承認をいただき、2025年4月に30社局へアンケート調査を実施した。現在、小委員会2回、幹事会13回開催し、研究成果について2026年3月を目標に取り纏め、第2回委員会で報告・承認いただいた後、2026年5月中旬を目途に製本し、実効性の高い報告書を各事業者へ配布できるよう取り組んでいる。

6 講習会等

(1) 第29回運転設備研修講座

- ・施行日 2024年6月12日～14日
 - ・会場 機械振興会館
 - ・受講者 94名
 - ・講師 (順不同・敬称略)
- | | | |
|-------------------|---------|---------|
| 国土交通省鉄道局技術企画課 | 電気基準係長 | 荒井 健吾 氏 |
| 東日本旅客鉄道(株) 鉄道事業本部 | 安全企画部主幹 | 片方 喜信 氏 |
| 一般社団法人日本鉄道運転協会 | 顧問 | 寒河江 仁 氏 |
| 一般社団法人日本鉄道運転協会 | 顧問 | 石井 信邦 氏 |

(2) 第30回運転理論(運転曲線)講習会

- ・施行日 2024年8月27日～30日
 - ・会場 機械振興会館
 - ・受講者 70名
 - ・講師
- | | |
|--------------------|---------|
| 元JR水戸鉄道サービス(株) 監査役 | 赤津 尚孝 氏 |
|--------------------|---------|

(3) 第30回運転法規研修講座

- ・施行日 2024年9月4日～6日
 - ・会場 機械振興会館
 - ・受講者 138名
 - ・講師 (順不同・敬称略)
- | | | |
|-----------------|----------|---------|
| 国土交通省鉄道局技術企画課 | 運転基準係長 | 鈴木 健二 氏 |
| 東京地下鉄(株) 安全・技術部 | 技術管理担当部長 | 作原 敏弘 氏 |
| 一般社団法人日本鉄道運転協会 | 顧問 | 石濱 順吉 氏 |

(4) 第59回運転関係指導者講習会

- ・開催日 前期 2024年10月 9日(水)～11日(金)
後期 2024年10月23日(水)～25日(金)
 - ・会場 機械振興会館
 - ・受講者 247名(前期127名 後期120名)
 - ・講師 (順不同、敬称略)
- | | | |
|-------------------|------------------------|---------|
| 国土交通省 鉄道局 | 安全監理官 | 竹島 晃 氏 |
| JR東日本健康推進センター | 所長 | 笠原 悦夫 氏 |
| (株)JR東日本パーソネルサービス | 医学適性科担当部長 | 山本 尚寿 氏 |
| | 常務取締役 | |
| | 総合研修センター | |
| | 事業本部 副本部長 | 佐藤 寿 氏 |
| 株式会社ルミネクリエーツ | 代表取締役社長 | 土屋 博一 氏 |
| (株)JR東日本パーソネルサービス | コンサルティング | |
| | 事業部マネージャー | 吉田 秀貴 氏 |
| 政策研究大学院大学 | 教授 | 鈴木 博人 氏 |
| JR東日本研究開発センター | シニアリーダー(ヒューマンファクター) | |
| | | 楠神 健 氏 |
| JR東日本研究開発センター | ユニットリーダー(ヒューマンファクター) | |
| | | 藤代 博明 氏 |
| JR東日本研究開発センター | ユニットマネージャー(ヒューマンファクター) | |
| | | 千葉 武史 氏 |

(株)パーソネルサービス(派遣依頼) (株)オンリーワン専属講師 川添 美和 氏

(5) 第22回 運輸業務管理ゼミナール

- ・ 施行日 2025年2月6日～7日
- ・ 会 場 機械振興会館
- ・ 受講者 77名
- ・ 講 師 (順不同・敬称略)

国土交通省 鉄道局	安全監理官	竹島 晃 氏
元帝都高速度交通営団		佐藤 公一 氏
(株)オンリーワン	専属講師	森 みや子 氏
東急電鉄株式会社	総括産業医	伊藤 克人 氏
静岡英和学院大学	教 授	重森 雅嘉 氏
西日本旅客鉄道株式会社	安全研究所担当部長	鶴原 修 氏

7 第64回海外鉄道視察団派遣

2024年度の海外鉄道視察団派遣は、参加者19名で開催、9月24日～10月3日までの10日間の行程で欧州3か国(ドイツ、スイス、フランス)を訪問、視察を行った。

8 第45回運転業務研究発表会

- (1) 実施日 2024年11月14日(木)、11月15日(金)
- (2) 会 場 機械振興会館 ホール
- (3) 聴講者 無料
- (4) 発表社局と発表テーマ 24社局27テーマ(2024年度までの累積発表件数1,029件)
- (5) 発表者と表彰結果

第45回運転業務研究発表作品数は27件の応募があり、発表後の審査結果は、鉄道局長賞1社、協会会長賞1社、交通新聞社賞1社、審査委員特別賞1社、優秀賞7社、奨励賞7社、努力賞9社であった。

(運転業研発表会作品成績表 別紙-1 参照)

9 創立記念式典及び表彰関係

2025年1月29日創立66周年記念式典を飯田橋ホテルメトロポリタンエドモントにおいて挙行し、東記念賞、運転功労者表彰、運転協会誌優秀作品賞及び協会功績者褒章の表彰を行った。
(運転功労者賞、運転協会誌優秀作品賞、協会功績者褒賞名は、別紙-2, 3 参照)

(1) 東記念賞

件 名	受 賞 者
GOA2.5自動運転実現と今後の展開	九州旅客鉄道株式会社

- (2) 運転功労者賞 : 鉄道の運転業務に顕著な功績があつて支部長から推薦された28名に表彰状を授与した。累計では2024年度までに1,263名を数えている。
- (3) 運転協会誌優秀作品賞 : 運転協会誌において特に優秀と認められた作品に対して優秀論文会長賞1名、優秀論文賞3名、優秀エッセイ賞3名に表彰状を授与した。
- (4) 協会功績者褒賞 : 運転協会の発展に特に貢献された5名に褒賞を授与した。

10 運転協会誌表紙写真コンテスト

2025年度用運転協会誌表紙写真コンテスト（応募者53名、作品210点）は、2025年3月5日の審査で入選作品を決定し、表彰した。

特選	翠緑の力走	東海旅客鉄道（株）	羽佐田 浩泰 氏
1等	青い閃光	相模鉄道（株）	谷口 清和 氏
	朝焼けの中	京王電鉄（株）	吉田 忠司 氏
	-20℃の朝	東武鉄道（株）	志村 泰洋 氏
2等	6点		
佳作	10点		

（運転協会誌表紙写真コンテスト入賞者一覧 別紙－4 参照）

事業報告の付属明細書

別紙 - 1 第45回運輸業務研究発表会 研究作品成績表

2024年度 第45回運輸業務研究発表会 研究作品成績表

2024年11月14日・15日 場所：機械振興会館

賞	標 題	会 社 名	職 場 名
鉄道局長賞	激甚災害発生時における乗務員の対応力強化	東海旅客鉄道株式会社	静岡支社 浜松運輸区
協会会長賞	すべてはお客様の笑顔とありがとうのために ～SPACIA X誕生から現在までの軌跡～	東武鉄道株式会社	鉄道事業本部 営業統括部 運輸部春日部乗務管区
交通新聞社賞	乗務員が作る！スマホアプリによる業務変革	小田急電鉄株式会社	交通サービス事業本部 運転車 両部足柄乗務所 喜多見乗務所 大野乗務所
審査員特別賞	主任車掌が挑む新時代 ～進化する主任車掌～	東急電鉄株式会社	鉄道事業本部 運輸部 長津田車掌区
優秀賞	指令員の正確な力量把握と教育方法の確立	東日本旅客鉄道株式会社	新幹線統括本部 新幹線総合指令所
優秀賞	インバウンド旅客をお迎えするにあたって	阪急電鉄株式会社	都市交通事業本部 運輸部 京都線運輸課運転係
優秀賞	駅運転取扱い体制の構築	愛知環状鉄道株式会社	運輸部 運転課指令担当 新豊田駅
優秀賞	異常時能力向上について	IRいしかわ鉄道株式会社	運輸部 運転センター
優秀賞	乗務員開発アプリによる事故防止と業務改革	東海旅客鉄道株式会社	東海鉄道事業本部 亀山運輸区
優秀賞	BIOSTYLE(節電)運転プロジェクト	京阪電気鉄道株式会社	大津営業部 営業課 運輸区
優秀賞	当区乗務員の「人材育成」と「働きがいの創出」	九州旅客鉄道株式会社	門司車掌区
奨励賞	乗務員の声プロジェクト ～最上のソフト強化～	西日本鉄道株式会社	鉄道事業本部 運転車両部 運転課 柳川乗務所
奨励賞	人間特性に基づくヒューマンエラー防止指導	四国旅客鉄道株式会社	多度津運輸区
奨励賞	車いす用ケアスロープの視認性向上	南海電気鉄道株式会社	鉄道事業本部 運輸車両部 高野線列車区
奨励賞	生成AIを活用した教育支援ツールの可能性	西武鉄道株式会社	鉄道本部 運輸部 飯能乗務所
奨励賞	～万博輸送における現状の課題と対策～	大阪市高速電気軌道株式会社	交通事業本部 運輸部 乗務運輸事務所 森之宮乗務所
奨励賞	阪急版安全ガイドブックの作成	阪急電鉄株式会社	都市交通事業本部 運輸部 神戸線運輸課運転係
奨励賞	『ドア挟み件数「0件」に向けた活動』	東京地下鉄株式会社	鉄道本部 運輸部 日比谷線乗務管区
努力賞	情報シェアボードの軌跡 事故防止からコミュニケーションツールへの歩み	京浜急行電鉄株式会社	鉄道本部 運輸営業部 久里浜乗務区
努力賞	『新型車両導入に伴う情報共有の在り方』 ～“20系あるある”の作成～	京都市交通局	高速鉄道部 烏丸線運輸事務所
努力賞	報告しやすい環境づくり ～風土改革を目指して～	名古屋鉄道株式会社	鉄道事業本部 運転保安部 犬山乗務区
努力賞	「乗務員の知識向上に向けた新たな取り組みについて」	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 大阪統括部 運輸部 東生駒列車区
努力賞	「乗務員室備え付け靴の改良について」	京王電鉄株式会社	鉄道事業本部 鉄道営業部 富士見ヶ丘乗務区
努力賞	【大量輸送を事故無くA.R.E.するために】 ～催物開催の大量輸送における改札内の安全確保～	阪神電気鉄道株式会社	都市交通事業本部 運輸部 甲子園駅管区
努力賞	「私ならどうする？ ～考えて動ける職場を目指して～」	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 名古屋統括部 運輸 部 塩浜列車区
努力賞	北海道新幹線乗務員の教育体制とその成果	北海道旅客鉄道株式会社	函館新幹線運輸所
努力賞	リスクマップを活用した重大事故防止	西日本旅客鉄道株式会社	金沢支社 敦賀列車区

別紙ー 2 2024年度運転功労者表彰

2024年度運転功労者表彰

番号	支部	賞	社名	所属部署・役職	氏名
1	北海道	運転功労者	北海道旅客鉄道株式会社	名寄運転所 所長	北村 元
2	東北	運転功労者	阿武隈急行株式会社	運輸部長兼安全統括管理者	森 剛
3	新潟	運転功労者	しなの鉄道株式会社	運輸部長	中沢 智宏
4	関東	運転功労者	東日本旅客鉄道株式会社	横浜支社 鉄道事業部 安全企画ユニット マネージャー	渡邊 幸雄
5	関東	運転功労者	東日本旅客鉄道株式会社	千葉支社 千葉統括センター 副所長 (乗務ユニットリーダー)	藤崎 修司
6	関東	運転功労者	東急電鉄株式会社	鉄道事業本部 運輸部 運輸計画課 課長補佐	小林 満
7	関東	運転功労者	東京地下鉄株式会社	上野駅務管区 区長	湯浅 勝
8	関東	運転功労者	東京地下鉄株式会社	千代田線乗務管区 区長	小野 清
9	関東	運転功労者	京浜急行電鉄株式会社	鉄道本部 運輸営業部 金沢文庫乗務区 区 長	山室 佳久
10	関東	運転功労者	京王電鉄株式会社	鉄道事業本部 鉄道営業部 京王東管区 管区長	南澤 佳宏
11	関東	運転功労者	西武鉄道株式会社	鉄道本部 計画管理部 次長兼運行計画課長	村上 浩二
12	関東	運転功労者	京成電鉄株式会社	人事部 労務課 課長補佐	松井 健三
13	関東	運転功労者	京成電鉄株式会社	運輸部 運転課 課長	青木 昌彦
14	関東	運転功労者	東武鉄道株式会社	運輸部 運転課 課長補佐	山本 司
15	関東	運転功労者	小田急電鉄株式会社	交通サービス事業本部 運転車両部 海老名乗務所 助役	山崎 厚
16	関東	運転功労者	相模鉄道株式会社	営業部 駅務サービス課 横浜管区 横浜管区長	五十嵐 徹
17	関東	運転功労者	東海旅客鉄道株式会社	新幹線鉄道事業本部 運輸営業部 輸送課 課長代理	丸谷 秀文
18	関東	運転功労者	江ノ島電鉄株式会社	鉄道部 運輸課 駅 駅長	井口 貴之
19	中部	運転功労者	名古屋交通局	営業本部 電車部 電車運転課 電車運転課長 (運転管理者)	長村 光恭
20	中部	運転功労者	東海旅客鉄道株式会社	東海鉄道事業本部 豊川駅 駅長	小川 和彦
21	中部	運転功労者	大井川鐵道株式会社	新金谷運輸区 運輸区長	杉本 真
22	関西	運転功労者	阪急電鉄株式会社	都市交通事業本部 運輸部 宝塚線運輸課 運転係 運転係長	辻 禎
23	関西	運転功労者	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 大阪統括部 運輸部 運行課 課長補佐	井野 勲
24	関西	運転功労者	神戸市交通局	高速鉄道部 高速鉄道部長	繁田 和彦
25	関西	運転功労者	株式会社JR西日本メンテック	運輸技術調査部 課長	三好 和紀
26	関西	運転功労者	京阪電気鉄道株式会社	営業推進部 営業課 係長	野口 修
27	九州	運転功労者	西日本鉄道株式会社	鉄道事業本部運転車両部運転課 運転課長	今福 勝
28		運転功労者	日本貨物鉄道株式会社	東海支社 稲沢機関区 区長	林 敏彦

別紙－３ 運転協会誌優秀作品表彰者及び協会功績者褒章

２０２４年運転協会誌 優秀論文会長賞、優秀論文賞、優秀エッセイ賞候

１．優秀論文会長賞作品

執筆者名	会社名	標 題
村田 拓也	首都圏新都市鉄道	人間とシステムの協働で培ったつくばエクスプレスのATO運転 (GoA2.0) (2024.4月号)

２．優秀論文賞作品

執筆者名	会社名	標 題
二宮 翼	東日本旅客鉄道	東日本旅客鉄道における人材育成 (2024.7月号)
木村 文彦	西日本旅客鉄道	ダイヤ乱れ時の輸送計画におけるAIの活用方 (2024.3月号)
高橋 恭平	東京都交通局	急行の新行路，新しい時代へ (2024.6月号)

３．優秀エッセイ賞作品

執筆者名	会社名	標 題
高橋 映里	東日本旅客鉄道	【運転日誌余話】(380)車掌編 乗務員の多様な働き方 (2023.12月号)
生駒 圭史	くま川鉄道	【鉄道紀行】(443) くま鉄復旧の歩みと沿線の魅力 －人吉球磨復興の希望へ－ (2024.1月号)
布川 桃子	北大阪急行電鉄	【職場のわだい】(341) 北大阪急行電鉄 延伸線開業 －千里中央からつながるひとつ先の駅へ，ひとつ上の未来へ－ (2024.6月号)

２０２４年度 協会功績者褒章

氏 名	会社名	職 名
高橋 正信	西武鉄道株式会社	鉄道本部安全推進部長
岡本 広基	南海電気鉄道株式会社	公共交通グループ鉄道事業本部安全推進部次世代鉄道システム導入推進課長
井野 誠	阪神電気鉄道株式会社	都市交通事業本部運輸部 営業課 課長
浅倉 裕嗣	日本貨物鉄道株式会社	東海支社 運輸車両部長
齋藤 修一	東日本旅客鉄道株式会社	長野支社 鉄道事業部 指令・サービス品質ユニット マネージャー

別紙－４ ２０２５年度運転協会誌表紙写真コンテスト入賞者

２０２５年度運転協会誌表紙写真コンテスト入賞者

応募総数 ５３名 ２１０点

賞	氏 名	所 属 会 社	作 品 名
特 選	羽佐田 浩泰	東海旅客鉄道(株)	翠緑の力走
１ 等	谷口 清和	相模鉄道(株)	青い閃光
	吉田 忠司	京王電鉄(株)	朝焼けの中
	志村 泰洋	東武鉄道(株)	-20℃の朝
２ 等	大場 賢治	近畿日本鉄道(株)	凜として
	小川 昌幸	東急電鉄(株)	墨絵の世界 只見線
	荒井 剛	東武鉄道(株)	霧氷を駆ける
	小林 航	京浜急行電鉄(株)	爆雪を貫く
	山田 里美	小田急電鉄(株)	勇猛
	北川 治	小田急電鉄(株)	Sunset
佳 作	原田 将浩	南海電気鉄道(株)	復活銀釜 EF81-303
	小峰 一茂	東武鉄道(株)	ツートン春爛漫
	中原 英雄	東急電鉄(株)	富士山
	井筒 博之	首都圏新都市鉄道(株)	光る山
	三木 啓史	山陽電気鉄道(株)	西陽を浴びて
	中久喜 保	相模鉄道(株)	紅葉のトンネルを抜けて
	谷元 健治	しなの鉄道(株)	冬、宗谷の主役DE15
	尾針 智昭	(株)ゆりかもめ	雪魂氷姿（せっぱくひょうし）
	佐々木 優	南海電気鉄道(株)	蒼々たる若葉隧道、その輝きたるや
	吉國 洋伸	東海旅客鉄道(株)	Dreamin'

報告 2 2 0 2 5 年度事業計画及び予算

2025年度事業計画

I 2025年度事業計画

2024年の訪日外国人旅行者数は3,687万人と過去最高を記録し、消費額も8兆円を超えるなど訪日需要が堅調に推移しています。さらに、4月13日から開催される大阪・関西万博では多くの外国人旅行者が見込まれる中で、鉄道業界では安全かつ快適にご利用いただくことにより、再訪日に繋がることが期待されています。また、ますます深刻化する人手不足に備えるために、優秀な外国人材の鉄道部門における活用策を官民一体となって進められています。事業環境では、賃金上昇等を受けた物価の緩やかな上昇が続いています。

2025年度については、会員相互の情報共有と研鑽に資するという協会の使命を果たすべく、運転業務研究発表会、各種委員会では課題の解決に役立つ場として運営するとともに、各種講習会ではより実践的な知識の習得を目的とした講習内容と会員間コミュニケーションを重視するなど、会員各社局の発展に貢献していきます。また、今年度も海外鉄道視察団を通じて海外の最先端情報を習得するとともに、現地の鉄道を訪問し意見交換を行うなど、海外交流にも努めます。人手不足対策にもつながる自動運転の導入路線の拡大や技術の深度化の対応や、運輸係員に外国人材受け入れるための試験実施機関としての協会の役割を果たしていきます。

会員の負託に応えるべくより魅力的な活動を進めるとともに、協会事業の拡大と業務の効率化を図ります。

1 会務関係

(1) 第15回評議委員会	2025年 6月27日(金)
(2) 第15回定時社員総会	2025年 6月27日(金)
(3) 理事会 第57回	2025年 6月27日(金)
第58回	2025年 6月27日(金)
第59回	2025年11月21日(金)
第60回	2026年 3月 6日(金)
(4) 運営委員会 第19回	2025年 8月18日(月)
(5) 関東部会 第51回	2025年 9月 3日(水)
(7) 支部長会議(理事会と同時開催)第30回	2025年11月21日(金)
(8) 東記念賞選考委員会(理事会と同時開催)	2025年11月21日(金)
(9) 第67回創立記念式典	2026年 1月29日(木)
(10) 企画委員会	原則として奇数月の第3木曜日に開催
(11) 運転管理研究委員会	原則として年2回開催(5月及び11月)
(12) 安全情報委員会	原則として年1回開催
(13) 編集委員会	毎月上旬に開催
(14) 運転業務改善研究委員会	原則として毎月1回開催
(15) 運転協会全国事務担当者打合会議	原則として年2回開催(上期と下期)

2 事業関係

(1) 協会誌発行事業

従来と同様、運転協会誌を輸送関係の情報誌及び会員相互の連携を深める会員誌として、さらに内容の充実に努める。

(2) 表彰等事業

第67回創立記念式典を2026年1月29日(木)、ホテルメトロポリタンエドモント(水道橋)で挙げるのに併せて、東記念賞、運転功労者表彰、運転協会誌優秀作品賞、協会功績者褒賞の表彰を行う。

(3) 調査研究事業

ア 調査研究

鉄道・軌道の技術基準に関する見直し作業を推進する他、運転業務改善研究委員会を開催し引き続き課題の自主研究を行う。

イ 運転業務研究発表会

運転業務研究発表会(第46回)を2025年11月13日(木)～14日(金)に開催する。

ウ 鉄道事業者に対する教育支援事業

鉄道事業者の要望に応じ、随時実施する。

(4) 講習会事業

各講習会は、理解を深め知識を習得する目的で集合研修を行います。

ア 運転設備研修講座	2025年	6月11日(水)～13日(金)
イ 運転理論(運転曲線)講習会	2025年	8月19日(火)～22日(金)
ウ 運転法規研修講座	2025年	9月10日(水)～12日(金)
エ 運転関係指導者講習会	前期	2025年10月8日(水)～10日(金)
	後期	2025年10月22日(水)～24日(金)
オ 運輸業務管理ゼミナール	2026年	2月5日(木)～6日(金)

(5) 広告・図書発行、販売事業

協会誌掲載の広告の募集を行う他、引き続き以下の書籍の販売及び新刊書の発行検討を行う。

ア「運転理論」(再改訂版)基礎知識と応用	(2010年8月20日初版発行)
イ「鉄道のスピードアップ」	(1996年7月5日第4版発行)
ウ「解説 鉄道に関する技術基準(運転編)」	(2024年6月20日第9版発行)
エ「鉄道の運転保安設備(付 輸送計画実務の手引き)」	(2015年5月11日第3初版発行)
オ「重大運転事故記録・資料(復刻版) 追補(第2版) 昭和62年4月～平成23年3月」	(2013年12月5日初版発行)
カ「安全の仕組みから解く 鉄道の運転取扱いの要点」	(2012年8月5日初版発行)
キ「安全のキーポイントヒューマンエラーの防止(復刻版)」	(2023年12月20日第2版発行)
ク「実践運転概論」	(2015年4月3日第2版発行)
ケ「わかりやすい運転操縦実務」	(2015年3月20日初版発行)

(6) 技術・技能の認定事業

特定技能制度の試験機関として準備を行う。

(7) その他

ア 正会員、法人会員各社の関係者名簿の整備・作成

イ 運転協会誌表紙写真コンテストの実施

ウ 情報・資料の提供

エ 業務相談等の実施

オ 受託する運転業務関係の研究・調査事業の推進

カ 本部主催の講演会を行う他、支部が計画する講演会については、必要に応じて本部が支援する。

キ 試乗会、見学会等

本部・支部主催の試乗会、見学会を随時計画・実施する

2025年度 収支予算書

2025年4月1日から 2026年3月31日まで

(単位:円)

科目	2025年度予算 (a)	2024年度決算見込 (b)	対前年 増減 (a)-(b)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息			0
定期預金利息	50	55	-5
普通預金利息	414	4,515	-4,101
特定資産運用益計	464	4,570	-4,106
受取入金			
入会金収入			0
通常会員(個人)	4,800	2,800	2,000
通常会員(法人)	0	28,000	-28,000
受取入金計	4,800	30,800	-26,000
受取会費			0
会費収入			0
通常会員(個人)	108,634,000	116,402,050	-7,768,050
通常会員(法人)	28,616,000	28,658,000	-42,000
受取会費計	137,250,000	145,060,050	-7,810,050
事業収益			0
事業収入	61,141,120	62,438,360	-1,297,240
事業収益計	61,141,120	62,438,360	-1,297,240
雑収益			
受取利息	185	2,824	-2,639
雑収入	0	0	0
雑収益計	185	2,824	-2,639
経常収益計	198,396,569	207,536,604	-9,140,035
(2) 経常費用			
事業費計	154,725,553	163,808,500	-9,082,947
管理費計	43,578,716	41,772,189	1,806,527
経常費用計	198,304,269	205,580,689	-7,276,420
評価損益等調整前当期経常増減額			
当期経常増減額	92,300	1,955,915	-1,863,615
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0		
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	92,300	1,955,915	-1,863,615
一般正味財産期首残高	145,780,126	143,824,211	1,955,915
一般正味財産期末残高	145,872,426	145,780,126	92,300

第 1 号議案

2 0 2 4 年度決算の承認に関する件

貸 借 対 照 表

2025年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	580,423	647,074	△ 66,651
普通預金	40,055,534	57,882,583	△ 17,827,049
振替貯金	90,821,496	63,613,021	27,208,475
未収会費	4,600,000	8,113,200	△ 3,513,200
未収金	11,284,451	13,595,710	△ 2,311,259
貯蔵品	6,035,454	4,042,809	1,992,645
前払金	867,558	974,021	△ 106,463
仮払金	0	530,450	△ 530,450
前払費用	523,500	1,460,741	△ 937,241
流動資産合計	154,768,416	150,859,609	3,908,807
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	9,650,100	6,362,500	3,287,600
創記引当預金	11,000,000	9,000,000	2,000,000
資産除却債務準備金(特)(一般)	22,000,000	22,000,000	0
災害対策準備金	10,000,000	10,000,000	0
特定資産合計	52,650,100	47,362,500	5,287,600
(3) その他固定資産			
什器備品	3,929,331	3,929,331	0
ソフトウェア	999,000	999,000	0
減価償却累計額	△ 4,849,035	△ 4,728,819	△ 120,216
保証金	5,000,000	5,000,000	0
その他固定資産合計	5,079,296	5,199,512	△ 120,216
固定資産合計	57,729,396	52,562,012	5,167,384
資産合計	212,497,812	203,421,621	9,076,191
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,316,099	5,330,748	985,351
未払費用	0	700,000	△ 700,000
前受会費	3,322,400	3,037,600	284,800
預り金	1,171,089	1,027,562	143,527
未払消費税等	1,606,400	866,300	740,100
未払法人税等	70,000	70,000	0
賞与引当金	1,807,100	1,202,700	604,400
流動負債合計	14,293,088	12,234,910	2,058,178
2. 固定負債			
退職給付引当金	9,650,100	6,362,500	3,287,600
創立記念引当金	11,000,000	9,000,000	2,000,000
資産除却債務引当金	22,000,000	22,000,000	0
災害対策準備金引当金	10,000,000	10,000,000	0
固定負債合計	52,650,100	47,362,500	5,287,600
負債合計	66,943,188	59,597,410	7,345,778
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産	145,554,624	143,824,211	1,730,413
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)	(52,650,100)	(47,362,500)	(5,287,600)
正味財産合計	145,554,624	143,824,211	1,730,413
負債及び正味財産合計	212,497,812	203,421,621	9,076,191

2024年度正味財産増減計算書
2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	41,020	672	40,348
定期預金利息	55	51	4
普通預金利息	40,965	621	40,344
特定資産運用益計	41,020	672	40,348
受取入金			
入金収入	16,800	3,200	13,600
通常会員(個人)	2,800	3,200	-400
通常会員(法人)	14,000		14,000
受取入金計	16,800	3,200	13,600
受取会費			
会費収入	140,357,760	141,824,820	-1,467,060
通常会員(個人)	111,699,760	113,141,820	-1,442,060
通常会員(法人)	28,658,000	28,683,000	-25,000
受取会費計	140,357,760	141,824,820	-1,467,060
事業収益			
事業収入	68,396,476	52,215,460	16,181,016
事業収益計	68,396,476	52,215,460	16,181,016
経常収益計	208,812,056	194,044,152	14,767,904
(2) 経常費用			
事業費			
事業費計	164,185,091	158,625,748	5,559,343
管理費			
管理費計	42,896,552	42,893,332	3,220
経常費用計	207,081,643	201,519,080	5,562,563
評価損益等調整前当期経常増減額	1,730,413	-7,474,928	9,205,341
当期経常増減額	1,730,413	-7,474,928	9,205,341
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	1,730,413	-7,474,928	9,205,341
一般正味財産期首残高	143,824,211	151,299,139	-7,474,928
一般正味財産期末残高	145,554,624	143,824,211	1,730,413
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	145,554,624	143,824,211	1,730,413

財 産 目 録

2025年3月31日現在

(単位:円)

貸 借 対 照 表 科 目	場 所・物 量 等	使 用 目 的	金 額
資産の部			
流動資産			
現 金	手もと保管	運転資金として	580,423
預 金	普通預金	運転資金として	40,055,534
	三井住友銀行 神田駅前支店		(20,380,402)
	三井住友銀行 上野支店		(17,602,369)
	みずほ銀行 神田駅前支店		(2,004,922)
	三菱UFJ信託銀行 本店		(8,087)
	三菱UFJ信託銀行 本店 5		(59,754)
	振替貯金	運転資金として	90,821,496
	郵便振替・東京貯金事務センター		
未収会費	2024年度会費	法人会計収益へ	4,600,000
未 収 金	JR受託料、協会誌購読料、書籍売上	調査研究事業、協会誌発行事業 広告・図書事業収益へ	11,284,451
貯 蔵 品	本部事務室(有償図書一部業者)	販売用図書、郵券類の棚卸資産	6,035,454
前 渡 金	各支部への助成金	各支部運営の為に助成金	867,558
前払費用	2025年度4月以降通勤定期券等	職員等に対する通勤定期代	523,500
流動資産合計			154,768,416
固定資産			
特定資産			
退職給付引当預金	普通預金	職員等に対する退職金支払いに備えるため	9,650,100
	三菱UFJ銀行 上野中央支店		(9,650,100)
創立記念事業引当預金	普通預金	創立記念式典の為に準備金	11,000,000
	三井住友銀行 上野支店		(11,000,000)
資産除去債務準備預金	普通預金	事業所の原状回復に必要とされる準備金	22,000,000
	三井住友銀行上野支店		(19,000,000)
	定期預金		(3,000,000)
	三菱UFJ信託銀行		
災害対策準備預金	普通預金	大災害時における会員救済の為に準備金	10,000,000
	三井住友銀行上野支店		(10,000,000)
その他固定資産			
什器備品	本部事務室	実施事業会計、その他事業会計及び法人会計の用に供している	3,929,331
ソフトウェア	本部事務室	会員管理システムに運用している	999,000
減価償却累計額		法人会計の用に供している	-4,849,035
保 証 金	本部事務室	サンフロンティア不動産(株)(貸主)	5,000,000
固定資産合計			57,729,396
資 産 合 計			212,497,812
負債の部			
流動負債			
未払金	運転協会誌4月号の印刷及び委託費等	協会誌4月号及び委託費等の未払	6,316,099
前受会費	2025年度分会費	2025年度分前納会費分	3,322,400
預 り 金	職員等の給与控除の社会保険料、源泉所得税、住民税及び報酬料金の源泉所得税	社会保険事務所、税務署、市町村へ納付する職員等の預かり金	1,171,089
賞与引当金	2025年6月期賞与要支給見込額	職員等に対する賞与支払いのための引当金	1,807,100
未払消費税等	2024年度未払消費税等	2024年度消費税の未払分	1,606,400
未払法人税等	2024年度未払法人税等	2024年度法人税等の未払分(均等割)	70,000
流動負債合計			14,293,088
固定負債			
退職給付引当金	職員等に対する退職金支払いの為に準備金	職員等に対する退職金支払いの為に準備金	9,650,100
創立記念引当金	創立記念式典の為に準備金	創立記念式典の為に準備金	11,000,000
資産除去債務準備金	事業所の原状回復に必要な債務	事業所の原状回復に必要とされる金額	22,000,000
災害対策準備金	大災害時における会員救済の為に準備金	大災害時における会員救済の為に準備金	10,000,000
固定負債合計			52,650,100
負 債 合 計			66,943,188
正味財産合計			145,554,624
負債及び正味財産の合計			212,497,812

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産(貯蔵品)の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価基準を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品 …… 定率法によっている。

ソフトウェア …… 定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金 …… 翌期支払の職員等の賞与見込額のうち当事業年度に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金 …… 当事業年度末における退職給付債務に基づき、相当する金額を計上している。

創立記念事業引当金 …… 第70回創立記念式典に見込まれる費用のうち、等事業年度に引当てる金額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引で、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	うち負債に対応する額	うち正味財産からの充当額
特定資産			
創立記念引当預金(普通預金)	11,000,000	0	11,000,000
退職給付引当預金(普通預金)	9,650,100	0	9,650,100
資産除去債務準備預金(普通・定期預金)	22,000,000	0	22,000,000
災害対策準備預金(普通預金)	10,000,000	0	10,000,000
合 計	52,650,100	0	52,650,100

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 保証債務

該当なし

7. 重要な後発事象

該当なし

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表に対する注記4、「特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。」

に記載しているため省略します。

2. 引当金の明細

単位:円

科 目	期 首 残 高	当期増加額	当 期 減 少 額	期 末 残 高
賞 与 引 当 金	1,202,700	3,435,500	2,831,100	1,807,100
退職給付引当金	6,362,500	3,287,600	0	9,650,100

監 查 報 告 書

監 査 報 告 書

一般社団法人日本鉄道運転協会
会 長 白川 保友 殿

2 0 2 5 年 5 月 1 9 日
一般社団法人日本鉄道運転協会

監事 竹谷 英樹 印

監事 中道 哲朗 印

監事 青山 裕一 印

私たちは、2024年4月1日から2025年3月31日までの2024年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告します。

1 監査の方法

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧などを必要と思われる監査手続を用いて、書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席して理事からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び附属明細書は、会計帳簿記載の金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は、真実と認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正な行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

第2号議案

定款の改定に関する件

定款の改定に関する件

改定事由

特定技能制度の鉄道分野の追加に伴い、試験実施機関としての事業の追加、及び海外で試験を実施可能とするため。

	改定案
一般社団法人日本鉄道 運転協会 定款 (平成23年4月1日 制定) 第2章目的及び事業	(事業) 第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 運転業務に関する調査研究並びにその受託 (2) 運転業務に関する講演会、講習会及び見学会等の開催 (3) 運転業務に関する文献及び資料の蒐集、整理、保存及び頒布 (4) 運転・保安情報の共有化と活用 <u>(5) 運転業務に関する技術・技能の評価及び認定（以下番号の繰り下げ）</u> <u>(6) 運転業務に関する発明・考案及び研究に対する指導育成</u> <u>(7) 広告、会誌その他図書の発行</u> <u>(8) 運転業務等に関し功績のあった個人、法人に対する表彰</u> <u>(9) その他、この法人の目的を達成するための必要な事業</u> 2 前項の各事業は、日本全国において行う。<u>ただし一部事業は海外においても行う。</u>
	現行 (事業) 第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 運転業務に関する調査研究並びにその受託 (2) 運転業務に関する講演会、講習会及び見学会等の開催 (3) 運転業務に関する文献及び資料の蒐集、整理、保存及び頒布 (4) 運転・保安情報の共有化と活用 (5) 運転業務に関する発明・考案及び研究に対する指導育成 (6) 広告、会誌その他図書の発行 (7) 運転業務等に関し功績のあった個人、法人に対する表彰 (8) その他、この法人の目的を達成するための必要な事業 2 前項の各事業は、日本全国において行う。

第 3 号議案

理事及び監事の選任に関する件

理事及び監事の選任候補者は、別紙のとおりである。

理事選任候補者

○重任者

	役 職	勤 務 先・役 職	氏 名
重任	理 事	(一社)日本鉄道運転協会	白川 保友
重任	理 事	東急電鉄株式会社	城石 文明
重任	理 事	南海電気鉄道株式会社	梶谷 知志
重任	理 事	(一社)日本鉄道運輸サービス協会	鎌田 伸一郎
重任	理 事	(一社)日本鉄道車両機械技術協会	橋爪 進
重任	理 事	(一社)日本鉄道車輛工業会	廣瀬 道雄
重任	理 事	東京工業大学	富井 規雄
重任	理 事	北海道旅客鉄道株式会社	佐藤 一朗
重任	理 事	東日本旅客鉄道株式会社	丸山 正樹
重任	理 事	東海旅客鉄道株式会社	辻村 厚
重任	理 事	西日本旅客鉄道株式会社	岸本 良記
重任	理 事	四国旅客鉄道株式会社	竹原 健一
重任	理 事	札幌市交通局	山田 耕司
重任	理 事	東京地下鉄株式会社	是澤 正人
重任	理 事	大阪市高速電気軌道株式会社	堀 元治
重任	理 事	東武鉄道株式会社	鈴木 孝郎
重任	理 事	京成電鉄株式会社	持永 秀毅
重任	理 事	京王電鉄株式会社	井上 晋一
重任	理 事	小田急電鉄株式会社	立山 昭憲
重任	理 事	相模鉄道株式会社	金城 正浩
重任	理 事	名古屋鉄道株式会社	坂野 公治
重任	理 事	近畿日本鉄道株式会社	福嶌 博
重任	理 事	京阪電気鉄道株式会社	木原 芳樹
重任	理 事	阪急電鉄株式会社	山中 直義
重任	理 事	阪神電気鉄道株式会社	原田 大
重任	理 事	西日本鉄道株式会社	久木田桂一
重任	理 事	東京モノレール株式会社	福山 浩史
重任	理 事	株式会社小田急箱根	大津 俊成
重任	理 事	株式会社日立製作所	坂本 義文
重任	理 事	三菱電機株式会社	成松 延佳
重任	理 事	株式会社東芝	吉野 浩史
重任	理 事	株式会社京三製作所	嶺 孝志
重任	理 事	日本信号株式会社	後藤 隆一
重任	理 事	(一社)日本鉄道運転協会	福島 義平
重任	理 事	(一社)日本鉄道運転協会	吉田 豊
重任	理 事	(一社)日本鉄道運転協会	田口 文雄

○新任者

	役 職	勤 務 先・役 職	氏 名
新任	理 事	東日本旅客鉄道株式会社	井上 進
新任	理 事	(公財)鉄道総合技術研究所	平井 力
新任	理 事	東日本旅客鉄道株式会社	小島 央士
新任	理 事	東日本旅客鉄道株式会社	佐藤 嗣倫
新任	理 事	東海旅客鉄道株式会社	有本 政弘
新任	理 事	東海旅客鉄道株式会社	山本 茂之
新任	理 事	西日本旅客鉄道株式会社	藪上 政樹
新任	理 事	九州旅客鉄道株式会社	中嶋 弘明
新任	理 事	名古屋市交通局	福田 弘文
新任	理 事	西武鉄道株式会社	町田 明
新任	理 事	近畿日本鉄道株式会社	浦野 智之
新任	理 事	大同信号株式会社	浦壁 俊光
新任	理 事	東日本旅客鉄道株式会社	赤司 勝

監事選任候補者

○重任者

	役 職	勤 務 先・役 職	氏 名
重任	監 事	京浜急行電鉄株式会社	竹谷 英樹
重任	監 事	税理士法人ハンズ	青山 裕一

○新任者

	役 職	勤 務 先・役 職	氏 名
新任	監 事	日本貨物鉄道株式会社	但野 新二

任期満了に伴う退任者

	役 職	勤 務 先・役 職	氏 名
退任	理 事	(一社)日本鉄道運転協会	石田 義雄
退任	理 事	東海旅客鉄道株式会社	勝治 秀行
退任	理 事	(公財)鉄道総合技術研究所	武内 陽子
退任	理 事	東日本旅客鉄道株式会社	青井 修
退任	理 事	西日本旅客鉄道株式会社	桑原 清充
退任	理 事	JR九州高速船株式会社	松尾 英典
退任	理 事	名古屋市交通局	勝野 泰成
退任	理 事	近江鉄道株式会社	藤井 高明
退任	理 事	近鉄タクシー株式会社	青木 篤志
退任	理 事	大同信号株式会社	佐藤 盛三
退任	理 事	(一社)日本鉄道運転協会	石井 信邦
退任	理 事	(一社)日本鉄道運転協会	小川 秀樹
退任	監 事	日本貨物鉄道株式会社	中川 哲朗